

# グループウェアを体験・導入しよう！

## ○グループウェアを導入するには？

グループウェアを導入する前提として、校内（職員室）LANが整備されている必要があります。整備されていない場合は、ネットワーク機器が安価であることや、簡単に接続できることから、予算のハードルをあまり気にせず導入を検討してはいかがでしょうか。

また、サーバ機（パソコン）も必要です。サーバ専用機ではなく、通常のパソコンでも動作します。高い性能を要求しません。十分なメモリを搭載し、5年以上前のパソコンで運用している事例もあります。（メモリは1GB以上を推奨）

校内LANとサーバ機が準備できれば、図1のグループウェア導入フローに従い、NetCommonsが動作するように環境を構築し、グループウェアとして設計します。

最後に、ユーザ登録などの学校独自設定を行い、導入が完了します。



図1 グループウェア導入フロー

☆山形県教育センターでは、簡単にグループウェアを体験・導入できる

## 「グループウェア体験・導入CD」

を制作しました。ホームページ上で配布中です。

この1枚のCDで、グループウェアの体験から導入までをサポートします。

### ①グループウェアの体験

パソコンをCDから起動できるように設定します。CDには、オペレーティングシステム（Ubuntu）が組み込まれており、起動後は一般的な学校を想定したグループウェア機能を体験できます。体験後は、パソコン内部に変更を加えないため、通常通りにパソコンを使用できます。

### ②グループウェアの導入

サーバ機（パソコン）が準備できれば、CDから起動して、導入ボタンをクリックすることで、簡単に①のグループウェア体験時の機能が導入できます。あとはユーザ登録などの学校独自設定を行い、導入が完了します。

### ③導入相談について

平成22年度よりカリキュラムサポートプラザを開設し、学校づくりに関することや校内研修に関することなどの相談に応じています。グループウェアの導入など、校務の情報化推進のための相談にも対応しますので、カリキュラムサポートプラザまでお気軽にご相談ください。



図2 利用イメージ

コラム：Ubuntu（ウブントゥ）とは？  
オープンソースソフトウェアの代表格であるLinux（リナックス）ベースのオペレーティングシステムの1つ。あらゆる分野のソフトウェアが含まれており、完全に無償で使用できる。

# グループウェアって 使えるぞ！

＝ 校務の情報化研究事業まとめ ＝



平成23年3月

山形県教育センター

# グループウェアの導入で、校務が効率的になりました。

平成20年度から3年間、県立谷地高等学校をモデル校に委嘱し、校務にグループウェアを導入した際の有効性を実践・研究しました。導入後のアンケートでは、グループウェアについて86%の教員が「利用頻度が増えた」と回答し、「以前と変わらない」の14%を含めると100%の利用率となり、校務にグループウェアが定着しました。また、63%の教員が「校務が効率的になった」と回答しています。モデル校での実践から、校務におけるグループウェアの活用場面を紹介します。

## ○使用したグループウェア

今回の研究では、国立情報学研究所が次世代情報共有基盤システムとして開発したNetCommons（ネットコモンズ）を使用しました。ネットコモンズを使用した理由は、以下の4点です。

- オープンソースソフトウェアであり、**無償で自由に使用** することができる。
- 厳しいセキュリティ基準に合格し、**安心して使用** することができる。
- 多くの自治体や教育機関で使用され、今後も **継続したサポート** が期待できる。
- 操作が簡単で直感的に操作できるため、**スムーズに導入** できる。

## ○モデル校での活用場面

## よくある質問と回答（Q & A）

### Q1 グループウェアとは何ですか？

A1 校内LANを活用して情報共有やコミュニケーションの効率化を図り、グループによる協働作業を支援するソフトウェアの総称です。

### Q2 グループウェアには、どのような機能がありますか？

A2 一般的な機能として、次のようなものがあります。

閲覧板	日ごろの連絡事項や教育委員会などからの伝達事項を、すべての教員に周知することができます。打合せの時間が必要なく、口頭での連絡と違い記録として残すこともできます。送信者は、受信者の閲覧状況を確認できます。
掲示板	会議をグループウェア上で開催することができます。実際に顔を合わせての話合いが必要な場合のみ会議を開催すれば良く、掲示板上で共通理解を図っておくと、会議を開いた場合でも短時間で充実した話合いをすることができます。
スケジュール	各自が出張や年休などを登録することにより、勤務状況を把握することができます。また、学年や委員会などが会議や行事を登録することにより、学校全体のスケジュールを一目で把握することができます。
施設設備予約	体育館や電子黒板など、施設設備の予約状況を共有することができます。例えば授業でプロジェクターを使用する場合、予約情報を確認し、授業計画に役立てることができます。
文書共有	出張申請書式や年間スケジュール表や月予定表など、どの立場においても活用する基本文書を共有すると、それをもとに各自が必要に応じて加工して活用でき、無駄がなく互いに効率的な仕事ができる環境になります。

### Q3 オープンソースソフトウェアとは何ですか？

A3 ソースコード（ソフトウェアの設計図）が公開されており、誰でも自由に利用・改良・再配布が行えるソフトウェアです。無償なものが多く、導入コストに優れています。

### Q4 なぜ、教育の質が改善されるのですか？

- A4 校務の情報化がもたらすメリットとして、次のようなことが考えられます。
- ◇ 閲覧板や掲示板の活用で朝会等の時間が短縮され、教員に心の余裕ができ、児童生徒とのコミュニケーションの時間が増加します。
  - ◇ 従来は学級担任や教科担任が一人の目で見えていた児童生徒の学習記録や生活記録などの学習者情報を電子化することで、複数の教員の目で見えた多様かつ広範な学習者情報として共有することができます。
  - ◇ 学習指導教材や学級経営上必要な各種文書を共有することにより、仕事を効率化できるとともに教員間のコミュニケーションが増し、授業力や学級経営力を高めることにつながります。
  - ◇ 管理職や教員の校務の軽減と効率化により、学習指導や生徒指導にかかわる時間を生み出すことができます。